

平成23年度春期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:ベーシック

主担当:主任研究員 阪本 真由美

	6月21日(火)	6月22日(水)	6月23日(木)	6月24日(金)
09時30分～10時45分	1限	災害過程論 木村 玲欧 兵庫県立大学 環境人間学部准教授 ・災害発生後に、被災者が直面する様々な課題を時間軸から理解する。	災害をもたらす自然現象の理解(風水害) 川池 健司 京都大学防災研究所准教授 ・風水害の発生過程とその対応方法を理解する	地域防災計画論 永松 伸吾 関西大学社会安全学部准教授 ・地域防災計画の法的な位置づけとそれを補完するプログラム、活用方策の事例を学ぶ
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 阪本 真由美 主任研究員	ライフライン被害の様相 平山 修久 京都大学大学院工学研究科特定准教授 ・災害時のライフラインの被害の様相と復旧過程、市民生活への影響を理解する。	リスクコミュニケーション概論 吉川 肇子 慶応義塾大学商学部准教授 ・人びとがリスクをどのように認識しているのかを理解したうえで、緊急時の効果的な情報伝達方法を学ぶ。
13時15分～14時30分	3限	災害をもたらす自然現象の理解(地震) 清野 純史 上級研究員 ・地震発生のメカニズムと、それによる物理的・社会的被害を理解する	地震による建物被害 堀江 啓 株式会社インターリスク総研主任研究員 ・地震及び地震火災による建物被害を理解する	災害をもたらす自然現象の理解(地盤災害) 岡 二三生 上級研究員 ・地震動による液状化など、地盤被害の状況を理解する
14時45分～16時00分	4限	14:35～15:50 災害をもたらす自然現象の理解(津波) 奥村 与志弘 主任研究員 ・津波発生のメカニズムとそれによる物理的・社会的被害を理解する	(センター展示施設見学ワークショップ) 災害時に被災者が直面する生活課題 阪本 真由美 主任研究員 ・災害発生時に人びとが直面する生活上の課題を具体的にイメージすることができる。	阪神・淡路大震災における行政の対応 震災当時の行政関係者 ・震災発生直後の対応状況と出てきた課題を学ぶ ・都道府県と市町村災害対応の違いを理解する ・討論を通じて災害発生後に対応しなければならない課題と対応の考え方の理解を深める
16時15分～17時30分	5限	15:55～ センター展示見学		全体討論会 阪本 真由美 主任研究員 等 ・参加者との意見交換から、立場による考え方の違いを学ぶ
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式

平成23年度春期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エキスパートA

主担当:主任研究員 上野 友也

	6月7日(火)	6月8日(水)	6月9日(木)	6月10日(金)
09時30分～10時45分	1限	危機対応時の組織論(トップの対応) 遠藤 勝裕 ときわ総合サービス社長 ・阪神・淡路大震災でのトップの災害対応、危機管理に対する心得を学ぶ	災害対応各論(医療活動) 甲斐 達朗 上級研究員 ・災害現場の医療活動体制について理解を深める	〃市民社会ワークショップ 立木 茂雄 上級研究員 山本 康史 ハローボランティア・ネットワークみえ代表 平野 昌 ハローボランティア・ネットワークみえ事務局 ・災害時の被災社会の対応において、ボランティアの果たす役割、市民の力の特徴と行政との関係のあり方について理解を深める〃
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 上野 友也 主任研究員	災害対応各論(自治体財政) 中川 和之 時事通信社山形支局長 ・我が国の防災体制、厚生労働省の役割等の理解を深める	災害対応概論(復旧・復興期) 中林 一樹 上級研究員 ・復旧・復興期の対応と課題について学ぶ
13時15分～14時30分	3限	災害対応概論(初期期) 紅谷 昇平 研究主幹 ・初動対応時の対応と課題について理解を深める	防災計画・マニュアルの考え方 目黒 公郎 客員研究員 ・災害対応に活かすことができるマニュアルの考え方について学ぶ	災害対応演習 上野 友也 主任研究員 ・危機発生時の具体的な課題をもとに、災害対応の考え方について学ぶ
14時45分～16時00分	4限	都市の復興概論+復興まちあるき 小林 郁雄 客員研究員	災害対応概論(応急期) 石川 永子 主任研究員 ・応急対応期の対応と課題について理解を深める	災害事例 WS 上野 友也 主任研究員 ・災害対応に関わるワークショップを行い、研修で得た知識を実践に活かす方法を考える
16時15分～17時30分	5限	・阪神・淡路大震災の被災地を歩きながら、復興過程と様々な取り組みを学ぶ	危機対応時の組織論(情報システム) 浦川 豪 兵庫県立大学総合教育センター内防災教育センター准教授 ・災害発生直後の被害予測技術、システム設計における業務分析の考え方を学ぶ	危機対応時の組織論(情報提供・報道機関対応) 安富 信、川西 勝 リサーチフェロー ・災害時の情報提供方法、報道機関対応の課題を学ぶ
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式

平成23年度春期 災害対策専門研修  
マネジメントコース:エキスパートB

主担当:主任研究員 石川 永子

	6月14日(火)	6月15日(水)	6月16日(木)	6月17日(金)	
09時30分～10時45分	1限	阪神・淡路大震災の復興まちづくりにおける法制度上の課題 弁護士 古殿 宣敬 税理士 江本 明義 阪神・淡路大震災における法制度適用の実態とその問題、課題について	業務継続計画論 丸谷 浩明 (財)建設経済研究所研究理事 ・各公共機関におけるBCPの意味と重要性について、また、その導入について、具体的な事例を交えて理解する	非公共機関の災害対応 水島 重光 日本生活協同組合連合会 震災担当世話人 ・災害時における公共機関以外の組織との連携について	
11時00分～12時15分	2限	10:40～11:00 開講式 11:00～12:15 オリエンテーション 石川 永子 主任研究員	被害認定業務 田中 聡 富士常葉大学環境防災学部教授 ・被害認定の種類、また被災者への支援にとって重要な権証証明書発行業務の実務について	リスクマネジメント概論 小林潔司 上級研究員 ・行政評価の手法と考え方、防災計画等に基づく事業の評価手法について	災害対応従事者の業務管理論 岩井 圭司 兵庫教育大学大学院学校教育研究科教授 ・災害対応業務を行う上でのマインドケアについて
13時15分～14時30分	3限	災害の対応事例と教訓 齋藤 富雄 兵庫県国際交流協会理事長 桑井 弘之 豊岡市総務部防災課長補佐兼防災係長	災害対策本部の空間構成設計演習 牧 紀男 京都大学防災研究所准教授 元谷 豊 株式会社サイエンスクラフト東京事務所防災部主任 ・災害対策本部のレイアウトの重要性、また適切なレイアウトについて、演習を交えて理解する	ゲーミング手法を活用した防災・減災ワークショップ 矢守 克也 京都大学防災研究所教授 ・阪神・淡路大震災の事例を踏まえつつ、災害時の対応イメージを豊かにすることの重要性とその方法について、ゲーミング手法を活用して学ぶ	展示施設見学
14時45分～16時00分	4限	・災害事例をもとに、災害対応の課題と対応方法の考え方について理解を深める ・事例をもとに意見交換を行い、災害対応のあり方について理解を深める			全体討論会 石川 永子 主任研究員 等 ・参加者との意見交換から、立場による考え方の違いを学ぶ
16時15分～17時30分	5限	災害情報共有手法 宇田川 真之 主任研究員 ・情報共有の具体的方法について	都市巨大災害論 河田 恵昭 人と防災未来センター長 ・事例を通じて災害による被害過程の全体像について理解する	標準的な災害対応システム論 木村 玲欧 兵庫県立大学環境人間学部 准教授 ・災害対応における標準的業務手順や対応手法について	16:00～16:40 レポートタイム 16:40～16:55 閉講式
17時30分～17時45分	—	レポートタイム	レポートタイム	レポートタイム	